

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	行方市訪問型家庭教育支援チーム (呼称:行方市訪問型家庭教育支援チーム)
②活動拠点	行方市教育委員会生涯学習課
③活動範囲	行方市内全域
④組織体制	8人 元教員4人、教育支援センター職員1人、社会教育指導員2人 社会教育主事1人
⑤活動開始年度	平成30年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 行方市教育委員会生涯学習課 (TEL)0291-35-2111 (E-mail) name-shogaku@city.namegata.lg.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以上 <p style="text-align: right;">の子供を持つ保護者に対する活動を実施</p>

<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共働き世帯やひとり親世帯の増加、家族形態の変容や相対的貧困率の上昇、経済的な問題等による保護者の社会的な孤立感が児童虐待の要因の一つとなっている。子育てや子どもたちを地域社会全体で支えていくために、平成 30 年度から家庭教育力向上推進事業「こんにちは訪問」として事業を行っている。 ・小学校1年生の保護者を対象に全戸訪問を実施し、子育てに対する相談活動や子育てに関する情報提供を行っている。 ・対象家庭への訪問は2人1組で行っている。 ・訪問の結果、支援が必要な家庭については、学校教育課、健康増進課、こども福祉課と情報を共有しながら支援を行い、相談内容によっては、教育支援センターなどの専門機関を紹介したり繋いだりしている。
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育課、こども課と連携して実施し、相談内容によっては、各課や関係機関と連携して対応することにより、保護者に寄り添った活動になっている。保護者も安心感をもって相談できる体制になっている。 ・家庭訪問で得られた情報については、学校とも情報を共有し、連携を図ることにより、地域、学校、保護者が連携し、子育てに協力することができている。
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:学校・家庭・地域連携協力推進事業)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()</p>